

しなののうた

ちりりと軒に揺れいる風鈴の音色の清みて暑さ払いぬ



杉田小百合

しなののうた

三歳で父を亡くせし育つ子の墓前に供う名刺まぶしも

杉田小百合



しなののうた

もぎたての玉蜀黍を茹でつつも農を語れる妹のさわやか

l.NI

杉田小百合

しなののうた

久々の雨に打たれる向日葵の息づくさまに我も息づく

杉田小百合



しなののうた

デパ地下の秋刀魚一尾は四百円目で味わいて早足で過ぐ



杉田小百合